

コデマリの育て方

コデマリは暑さや寒さ、病害虫に強い、丈夫で育てやすいバラ科の落葉低木です。原産地は中国南東部。日本へは江戸時代に到来したようです。樹高は1~2mになります。弓なりに伸びた自然樹形を觀賞するのが基本ですが、刈り込みに強いのでいろいろに仕立てられます。開花は4月中旬~5月中旬です。

■植付けと管理

配布した苗は根を不織布で包んであります。この不織布は外して植えてください。植え付け時には地上部を少し切り戻します。

地植えする場合は、根鉢より一回り大きな植え穴を掘り、腐葉土や堆肥を混ぜて植えつけます。その後、水をたっぷりと与えてください。

鉢植えの場合は、保湿性の高い肥沃な土が適しているため、市販の花木用培養土か、赤玉土と腐葉土を混合した用土を使用します。根鉢より1~2回り大きい鉢に植え込んでください。鉢で育てる場合は水切れに注意します。

■肥料

1月~2月の休眠期に“寒肥”を施します。油かすに骨粉を3割ほど混ぜたものを使用するとよいでしょう。

土がやせてきたと感じたら、株回りに腐葉土や堆肥を置き、土と混ぜておきます。

花が終わった6月ごろに“お礼肥”として化成肥料を与えてください。

■剪定

花が終わった後に伸びた枝に、9月ごろまでに翌春に開花する花芽が形成されます。落葉後に若い枝を切りすぎると花が咲かなくなるので注意が必要です。剪定せずに放任しても美しい大株に生長します。

【花後の剪定】5月~6月、花が終わった後の剪定では、古い枝や枯れた枝、飛び出して樹形を乱している枝を、枝のつけ根から切り取ります。細く枝垂れるような、樹形に仕立てると綺麗な樹形になります。

【冬剪定】落葉後の12月~1月の剪定では、枝に花芽がついているので、強剪定は控えます。強く剪定すると、翌年、花が咲かなくなります。混みあった枝や不要な枝の整理にとどめましょう。

■病気・害虫

基本的には病害虫に強く、あまり手間のかからない植物ですが、風通しが悪いと“うどん粉病”が発生したり、アブラムシやカイガラムシが付くことがあります。